

規制緩和の流れのなかで、経済人の多くは、司法制度が経済を支える重要な社会基盤であると気がついた。昨年来の経済危機で規制緩和の行き過ぎを見直す動きもあるが、官僚による統制経済に戻るなどあり得ないし、司法制度が適切に機能することが日本経済のためにも重要であるとの認識は変わらないと思われる。

しかし、司法制度の頂点に立つ最高裁判所の個々の裁判官の人格識見に対する国民の関心は低いままだ。それでよいのだろうか。

例えば、民主主義の根本である1票の価値の格差問題。

## 大機小機

国政選挙のたびに裁判所に持ち込まれる問題だが、最高裁判所は格差が衆議院は3倍、参議院は6倍を超えないれば憲法違反ではないという判断を長年続けている。

選挙区割りなどの技術的理由で、1票の価値が完全に平等にはなり得ないことは理解

### 最高裁判所裁判官の国民審査

できる。しかし、衆議院であらされた票が有効投票の半数を超過した裁判官は罷免される。

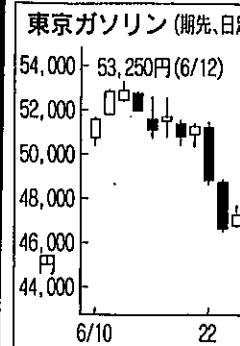
格差があつても合憲だといふのは首をかしげざるを得ない。1票の価値の不平等が政策や予算配分をゆがめ、日本経済に悪影響を与えていく可能性も否定できない。

高裁長官を含む9人が審査対象になる予定だ。

国民審査では、×印を付けられ参議院であれ、2倍以上の超えた裁判官は罷免される。

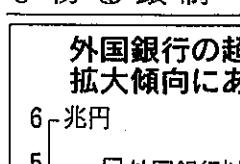
もっとも、白票は信任扱いだから、耳目を集めるスキャンダルでもなければ罷免されることはないだろう。実際、過去に×印が20%を超えた裁判官はない。しかし、国民審査は無意味ではない。国民の

(腹鼓)



禾の認証正規を経由する  
ために導入した補完当座預金が外国銀行にとって「収益機会」となっている。

▼補完当座預金制度  
取引金利が誘導目標(0.1%の金利を付ける制度。金融危機対応で日銀思わぬ「収益機会」となが大量の資金を供給する)と、無担保コール翌日物



兆円

□ 外国銀行以外  
■ 外国銀行

し、それをスワップ取引で円に換える。の調達金利が上昇するためで、の円転金利は0.3%

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(東京小豆) (30kg)  
7月8580 8580 8580 8580 8580 △10  
8月8670 8660 8650 8650 8620 △60  
9月8510 8600 8600 8540 8520 8560 △10  
10月8430 8530 8540 8500 8500 △30  
11月9180 9190 9200 9190 9170 9160 △20  
12月9220 9250 9290 9210 9200 9200 △10

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(東京粗糖) (1t)  
9月32570 33040 33500 33700 33700 33880 △330  
11月36810 36820 37120 37100 37100 37020 △440  
1月36550 38450 38540 38730 38710 38570 △260  
3月38990 38950 38940 38900 39040 39090 △180  
5月38310 38380 38390 38430 38420 38510 △120  
7月38320 38490 38520 38510 38510 38500 0

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(東京生糸) (1kg)  
7月2306 2306 2306 2306 2306 0  
8月2306 2306 2306 2306 2306 0  
9月2306 2306 2306 2306 2306 0  
10月2306 2306 2306 2306 2306 0  
11月2306 2306 2306 2306 2306 0  
12月2306 2306 2306 2306 2306 0

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(中部大阪ガソリン) (1kg)  
7月2306 2306 2306 2306 2306 0  
8月2306 2306 2306 2306 2306 0  
9月2306 2306 2306 2306 2306 0  
10月2306 2306 2306 2306 2306 0  
11月2306 2306 2306 2306 2306 0  
12月2306 2306 2306 2306 2306 0

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(東京小豆) (30kg)  
7月8580 8580 8580 8580 8580 △10  
8月8670 8660 8650 8650 8620 △60  
9月8510 8600 8600 8540 8520 8560 △10  
10月8430 8530 8540 8500 8500 △30  
11月9180 9190 9200 9190 9170 9160 △20  
12月9220 9250 9290 9210 9200 9200 △10

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(東京粗糖) (1t)  
9月32570 33040 33500 33700 33700 33880 △330  
11月36810 36820 37120 37100 37100 37020 △440  
1月36550 38450 38540 38730 38710 38570 △260  
3月38990 38950 38940 38900 39040 39090 △180  
5月38310 38380 38390 38430 38420 38510 △120  
7月38320 38490 38520 38510 38510 38500 0

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(東京生糸) (1kg)  
7月2306 2306 2306 2306 2306 0  
8月2306 2306 2306 2306 2306 0  
9月2306 2306 2306 2306 2306 0  
10月2306 2306 2306 2306 2306 0  
11月2306 2306 2306 2306 2306 0  
12月2306 2306 2306 2306 2306 0

前1 前2 前3 後1 後2 後3 前日比  
(中部大阪ガソリン) (1kg)  
7月2306 2306 2306 2306 2306 0  
8月2306 2306 2306 2306 2306 0  
9月2306 2306 2306 2306 2306 0  
10月2306 2306 2306 2306 2306 0  
11月2306 2306 2306 2306 2306 0  
12月2306 2306 2306 2306 2306 0